

ムカデ類

ムカデ類									発生時期			
1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	
				←————→								

生態

屋間は、暗くてジメジメした湿度が高い場所（倒木、腐葉土、石の下、草むらや土壌中）に生息しています。

夜行性で、餌は昆虫やクモです。

室内に餌となる虫が生息している場合は室内に侵入をすることもあります。



大きさ(体長)

トビズムカデ: 約150mm (危険)

アオズムカデ: 約100mm (危険)

セシジアカムカデ: 約50mm (危険)

イツスンムカデ: 約20mm (無害)

被害

- 夜間、屋内に侵入したムカデに気づかずに触れ咬まれる被害が発生します（就寝中に咬まれた など。）
- 靴の中に潜んでいたムカデに咬まれた

- ムカデは1対の大きな「毒あご(毒牙)」をもっています。咬まれた直後に、激しい痛みがあり、発赤や腫脹(はれること)がおこります。

咬まれた場合の対応

- 抗ヒスタミン剤含有のステロイド軟膏を塗る
- アンモニア水を塗る
- 器具*を使用して傷口から毒を吸い出す
- 痛みが激しい、腫れるなど症状が改善しない場合は、医療機関を受診しましょう
*吸引式の器具(ハチ刺され時に使用)

駆除

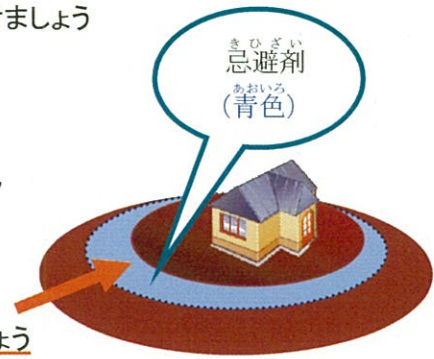
- 重くて堅いものでたたき潰す(頭をねらう)
- 殺虫剤をかける

<注意>

- スプレー式殺虫剤をかけると、あばれることがあります。気をつけましょう！
動かなくなっても、ムカデを素手でつかまさないでください。
咬まれないように注意しましょう！

よぼう 予防

- ムカデが好む環境をなくしましょう
(草刈り、落ち葉などの除去をして、風通しをよくしましょう)
- ムカデの室内への進入を防ぐため、網戸をつけましょう
(わずかな隙間を網などで塞ぐことも大切です)
- 不快害虫用の忌避剤を帯状に家の周囲にまき、侵入を防ぎましょう*



* 草刈りをおこない地表を出してから薬剤処理しましょう

- 侵入場所や潜み場所となりやすい雨戸、ガラス戸のレール部分にゴキブリ用エアゾールを吹きかけておく(欠点:殺虫効果が遅いため、室内に入ってきてからムカデが死ぬことがあります)。
- ムカデの餌となる昆虫やクモが室内に生息しない環境づくりをしましょう

◎ 見た目が不快!!...だけど、ムカデも役に立っています

- ムカデを油漬けなどにし、火傷や切り傷の薬として使用をしている地方があります
- 昆虫やクモを食べるので益虫としての面もあります

更に詳しい情報を知りたい場合は、以下の図書を参考にしてください。

1. 田辺 力著 : 多足類読本 東海大学出版会 (2001)
2. 武藤和雄、松崎 和子 著: 都市害虫百科 (株)朝倉書店 (1993)
3. 服部 睦作、森谷 清樹 著者代表: 不快害虫とその駆除 (財)日本環境衛生センター(1987)

ゲジ

- ヒトを咬むなどの害を与えません
- 長い脚がたくさんあり不快なかたちをしていますが、昆虫やクモを食べる益虫です
- 昼間は、草むらや石の下、床下などの暗い場所に潜んでいます
- 夜行性です

駆除・予防

ムカデ類と同じです。



ゲジ

体長: 約 19~28mm

体色: 灰黄色

更に詳しい情報を知りたい場合は、以下の図書を参考にしてください。

1. 田辺 力著 : 多足類読本 東海大学出版会 (2001)
2. 武藤和雄、松崎 和子 著: 都市害虫百科 (株)朝倉書店 (1993)
3. 服部 蛙作、森谷 清樹 著者代表: 不快害虫とその駆除 (財)日本環境衛生センター(1987)